

# 修学旅行新聞

発行所 財団法人 全国修学旅行研究協会  
発行人 前田 寛  
東京都千代田区西神田1-7-7(福) 2932  
東京2丁 電話 (262) 2426・2932  
電報 (東京) 6-36337

修学旅行は、学習を社会へ移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行う学校教育上極めて重要な行事である。  
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究し、常にその改善に努力し、ついで教育効果の充実に努め、必要であれば教育界に課せられた責務でもある。  
(財団法人 全国修学旅行研究協会の趣意書から)

## 平成2年度 文部省予算 概算要求額きまる

### 中学校修学旅行費の補助金 初めて四万円台に

(財)全国修学旅行研究協会 算要求の中で、次のように結(山本種一理事長)と、関東  
・東海・近畿地区公立中学校  
修学旅行連合委員会(土居克巳会長・西宮市立大社中学校長)とは、要保護・進歩保護家庭並びにへき地の児童生徒を支援対象とする、平成二年度の修学旅行費等の国庫補助金の増額を、本紙前号に記載のとおり陳情した。その成果は、文部省が八月末に大蔵省に提出した来年度予算の概算

校外活動費 中学校・宿泊を伴う場合 三万四千二百円 (二万二千二百円)	同・宿泊を伴わない場合 一万六千円 (二千二百円)
小学校・宿泊を伴う場合 二万二千二百円 (二千二百円)	同・宿泊を伴わない場合 八百二十円 (七百九十円)

なお、総額では修学旅行費は二十九億七千七百八十七万二千円、校外活動費は四億二千六百六十七万四千円となる。  
これについて、担当の文部省教育助成局財務課の倉持光雄課長は「概算要求は厳しいが、実績を参考とし、物価上昇分を含めた額を要求単価とした」と、陳情の主旨を充分尊重した旨、伝えられた。  
この補助金は、大蔵省の査定を経て、国会での来年度予算の成立を期して、支給の運びとなる。また、この金額は国と地方自治体が折半して支出している。

関東地区公立中学校修学旅行委員会(木村一会長・茂原あり、議事に入った。  
報告事項として、①修学旅行費等の国庫補助金増額についての文部省陳情の件、②関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会総会の件、③本年度四国方面現地研修の件、④修学旅行実施報告書の件、⑤第四回全修学旅行セミナーの件が、担当者から相次いで報告された。  
協議事項として、十一月十七日開催される本年度研究発表会の各県の参加について討議され、研究会の成功

をめぐり、各県とも最大限の協力を約した。  
次いで今回の重要議題である平成三年度修学旅行輸送計画の大綱が上程され、八百十一校、十八万四千三百五十五名に上る輸送計画の割り当て方針が、各県の互譲と協力、山口明議長(蓮田市立蓮田中学校長)の明快な議事進行によって、事前計画をほとんど修正することなく承認された。  
引き続き、各県委員からJR両社に対して修学旅行の輸送についての要望事項が陳述され、可能な限り努力するとの回答を得た。  
大原茂副会長(浦和市立本太中学校長)の閉会の辞をもつて予定時刻に終了した。

九月三十日 名古屋で開催  
財団法人全国修学旅行研究協会は、名古屋事務所開設記念の「修学旅行セミナー」開催に引き続き、高校教職員対象の「校外学習セミナー」を開催します。  
歌舞伎鑑賞による校外学習の探究を願い、関係者の多数参加を期待します。  
主催 財団法人 全国修学旅行研究協会  
後援 愛知県教育委員会  
2 愛知県私学協会ほか  
3 協賛 中日新聞社  
4 日時 平成元年九月三十日(土) 十三時から  
5 会場 御園座地下一階  
6 内容 地下鉄伏見駅下車  
62・6987

九月三十日 名古屋で開催  
財団法人全国修学旅行研究協会は、名古屋事務所開設記念の「修学旅行セミナー」開催に引き続き、高校教職員対象の「校外学習セミナー」を開催します。  
歌舞伎鑑賞による校外学習の探究を願い、関係者の多数参加を期待します。  
主催 財団法人 全国修学旅行研究協会  
後援 愛知県教育委員会  
2 愛知県私学協会ほか  
3 協賛 中日新聞社  
4 日時 平成元年九月三十日(土) 十三時から  
5 会場 御園座地下一階  
6 内容 地下鉄伏見駅下車  
62・6987

### 時言 教職員研修旅行の特色と課題

編集委員 北條直樹

四十数名の先生方と共に、全修協の教職員研修旅行「それからの芭蕉」に参加し、大きな感銘を受けた。  
旅行中の交流や後のアンケートから、先生方の声をまとめた次のようになる。  
教職員研修旅行の長所は、第一に企画が充実していることである。今日、旅行ブームといわれるが、研修旅行には「それからの芭蕉」のように、一味違った企画がある。地道で、しかも新鮮さを感じられたという声である。  
第二に講師陣である。現役の教職員については指導のための資質の向上をねらいとし、退職教職員のためには生涯学習の場として「それからの芭蕉」に、その道の  
専門家の話が聞けるというのが、他のツアーにならざるを得ない。伊賀上野の芭蕉翁記念館では、講師の山本茂貴館長の話を聞き、しかも芭蕉真筆になる「嵯峨日記」を特別に見ることができた。その喜びは何ものにも替えがたいものがあったという声がある。  
第三に、教職員だけという人の限定と全国からの参加という場の設定である。教職員を中心とする集団であるため、夕食や部屋の中の懇談には、必ずといっていい程、教育談義に花が咲く。教育の深まりである。と同時に、各地からの参加による交流は、参加者に全国的な広い視野を与えてくれる。そして数日にわたる同行は、以後、親しい交流が生まれる

基になる。より広く、より深く、より親しむ。こんなことが教職員研修旅行の特色ではないか。安心して参加できるという声も多く、中には二十回参加という退職教職員も見受けられた。  
しかし一方、コースの設定、旅館などの注文も含め、課題も多い。参加者の期待に応えるためには、まず、研修旅行の特色を更に生かす必要がある。そのためには、まず企画と講師陣のより一層の充実が必要である。修学旅行の改善向上をめざす事業の一環である以上、時代に即応し、生徒の教育課題に適應したコースや見学地の選択が大切だろう。福址の増進や生涯学習の場としての意義も考える必要がある。また、講師があるからといって参加する教職員があることを思うべき、より多方面から、すべからず講師を受け入れることが必要となる。  
更には、広報活動の在り方が問われる。すでに、教委、校長会、教職員互助組合等、教育関係団体の後援を得、職専免の措置や、協力団体の補助金等が出せよう。

平成三年度は18万4千名  
修学旅行の申込みを集計  
関東地区公立中修旅委  
主席のそれぞれのあいさつが  
あり、議事に入った。  
報告事項として、①修学旅行費等の国庫補助金増額についての文部省陳情の件、②関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会総会の件、③本年度四国方面現地研修の件、④修学旅行実施報告書の件、⑤第四回全修学旅行セミナーの件が、担当者から相次いで報告された。  
協議事項として、十一月十七日開催される本年度研究発表会の各県の参加について討議され、研究会の成功

をめぐり、各県とも最大限の協力を約した。  
次いで今回の重要議題である平成三年度修学旅行輸送計画の大綱が上程され、八百十一校、十八万四千三百五十五名に上る輸送計画の割り当て方針が、各県の互譲と協力、山口明議長(蓮田市立蓮田中学校長)の明快な議事進行によって、事前計画をほとんど修正することなく承認された。  
引き続き、各県委員からJR両社に対して修学旅行の輸送についての要望事項が陳述され、可能な限り努力するとの回答を得た。  
大原茂副会長(浦和市立本太中学校長)の閉会の辞をもつて予定時刻に終了した。



神奈川支部長 繁里 昭氏  
(財)全国修学旅行研究協会の神奈川支部長に、八月一日付で繁里(しげり)昭氏が就任した。  
繁里氏は横浜国立大学学芸学部卒業、横浜市立中学校の教諭を歴任し、本年六月から神奈川県教職員組合執行委員長。

「野ざらし」に心を風よしの身裁」と悲壮感のあつた芭蕉だが、三年後の「笈の小文」では「旅人と我名よはれん初しなれ」と心の余裕すらもつてきた。奥の細道「そして最後の旅に、芭蕉は「一筋にたがって」人間の成長として、芸術を昇華させた。  
旅から旅へ、一旅ごとに、「まわりも二まわりも人間が大きななるような研修旅行」としたいものである。それが、昭和三十三年八月以来三十年以上続けた教職員研修旅行の社会的使命であると言えよう。

「野ざらし」に心を風よしの身裁」と悲壮感のあつた芭蕉だが、三年後の「笈の小文」では「旅人と我名よはれん初しなれ」と心の余裕すらもつてきた。奥の細道「そして最後の旅に、芭蕉は「一筋にたがって」人間の成長として、芸術を昇華させた。  
旅から旅へ、一旅ごとに、「まわりも二まわりも人間が大きななるような研修旅行」としたいものである。それが、昭和三十三年八月以来三十年以上続けた教職員研修旅行の社会的使命であると言えよう。

信頼される旅づくり  
修学旅行は、プランニングから実施まで、安全で意義深いものでなければなりません。近畿日本ツーリストでは、修学旅行に必要な事項をキメ細かく網羅した全国地域別「企画書シリーズ」を作成し、ご活用いただいております。さらに、北海道から沖縄まで、修学旅行・ビデオテープ「学習の旅シリーズ」もご用意。学校の教育方針に沿いながらも、生徒ひとりひとりの心に輝く思い出づくりのため、国内・海外のネットワークを駆使して、細心の努力をいたします。  
心にあざやかな思い出、  
ツーリストの修学旅行。  
近畿日本ツーリスト  
本社 千101 東京都千代田区神田松永町19-2  
支店/国内250店(登録)/海外15店 ©運輸大臣登録一般旅行業第20号

# 夏季 教職員研修旅行 全団無事に終了 秋から冬も5コース

夏季休業期間を活用し、日本国士を北へ南へと自己研修に旅立った全団修学旅行研究協会・教育研修企画主催の「修学旅行新聞」が、修学旅行研究協会・教育研修企画主催の「修学旅行新聞」10月号紙面

教職員研修旅行団は、八月三十日で全団無事帰郷した。本年は、「尾瀬」コース、「芭蕉」のコース、「良寛」のコースなどの講師陣から旅への誘いのメッセージが事前が届き、「修学旅行新聞」で紹介されるなど、受け入れ先も一体となって収穫の多い旅となるよう準備が進められてきた。

恒例の研修旅行の作品募集（締切：九月十四日）も続々応募作品が集まり、講師との対話や、宿では教職員という職能集団らしい教育談義に花が咲いた様子が生々として記されている。（作品発表は、修学旅行新聞10月号紙面）

秋から冬にかけては次のコースを募集しています。  
●時代祭と大和公非開文化財  
10月22日(日)・10月24日(火)  
平安から明治までの京の時代を彩る華やかな風俗絵巻と、浄瑠璃寺の秘伝・吉祥天女像、法隆寺・救世観音など。  
●徳川美術館と明治村  
11月21日(日)・11月22日(月)  
尾張徳川家に伝わる重宝類と世界的に有名な「国宝・源氏物語絵巻」原本特別公開。  
●沖繩・秘境西表と石垣・宮古

12月26日(火)・12月29日(金)  
秘境西表の探勝と石垣・宮古・竹富島、沖縄本島の南部戦跡。  
●京都、奈良迎春の旅  
12月31日(日)・1月2日(火)  
京の伝統行事「おけら詣」と知恩院の除夜の鐘など、古都の「ゆくゆく」年。  
●二月堂のお水取りと大和路  
3月12日(月)・3月13日(火)  
東大寺二月堂のお水取り（修二会）がすむと古都は春を迎えます。  
●詳細は助全修協へ問合せを  
〒110 東京都千代田区西神田二  
一八七 ☎03・262・29

12月1日 全国修学旅行研究大会 大阪で開催  
人間形成の総合的学習である「特色ある我が校の修学旅行」を主題に、第六回全国修学旅行研究大会を開催します。  
主催 財団法人全国修学旅行研究協会、近畿地区公立中学校修学旅行委員会  
後援 文部省、近畿各府県市教育委員会  
3 協賛 関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会  
4 日時 平成元年十二月一日  
5 会場 大阪府教育会館  
近鉄上本町駅徒歩三分  
6 テーマ 「特色ある我が校の修学旅行」  
7 内容 (1)研究発表  
・自主性の創造を目指して  
富田林市立富田林第三中学校教諭 林 一幸氏  
・生徒たちで創る修学旅行  
西宮市立深津中学校教諭 荻野 南子氏  
(2)研究協議 (3)指導講評  
(4)講演 「個性を生かす教育と修学旅行」  
文部省初等中等教育局教科調査官 高橋 哲夫氏  
〒541 大阪府中央区北浜三  
一―二四近鉄ビル4F  
☎06・202・6500

今井 幸男氏(いまい ゆきお) 助全修協修学旅行研究協会名古屋事務所長 八月二十六日、急性心不全のため名古屋市瑞穂区中根町三三三の自宅で急逝、七十歳。葬儀は同二十八日、自宅で営まれた。  
要主は長男由貴(よしたか)氏  
今井氏は愛知第一師範学校卒業。名古屋市内の小・中学校教諭、教頭を経て、同市内の中学校長を歴任、名古屋市内少年センター指導員を務め、昭和五十七年四月から助全修協名古屋分室長、本年四月から中部地区の業務を統括し、東海三県中学校修学旅行委員会の事務局を担当して、修学旅行の改善向上と教職員研修旅行の充実発展に尽くされた功績は大きい。九月十日に名古屋で開催の「全修協修学旅行セミナー」の準備中、突然の訃報は誠に残念でならない。謹んでご冥福を祈ります。

とびだせ自然へ  
緑の箱根へ  
箱根高原ホテル  
〒250-05 神奈川県箱根町元箱根164  
電話0460-4-8595(代表)



ホテルK棟

〈表〉 年度別にみた「移行措置」進行状況

区分	総則		特別活動	
	「趣意を生かす」	「特別」 新学習指導要領による	「特別」 として	新学習指導要領による
年度	第1 及び 第2	第5 「(1) 授業時数の取扱い 「(2) 学級活動・35週以上(3) クラブ活動・年間、計画的に行う」	第3の4 (部活動による) クラブ活動の代替	第3の4 (部活動による) クラブ活動の代替
平成(年度)	元年	○	○	○
	2年	注1	○	○
	3年	○	○	注3
	4年	○	○	○

(注1) 「学級会活動、クラブ活動」とする。  
(注2,3) 第1学年からの学年進行による。

今月号は、緊急な課題である「中学校特別活動の移行措置」について記述する。  
特別活動の移行措置については、主に平成元年三月二十七日付けの文部事務次官通達で、その期間や指導の内容が示されているが、それらは一覽表にまとめて「表」のよう

## 生徒指導と特別活動・修学旅行

の作成等に当たって配慮すべき事項」を中心に生かすこと。  
・「特別活動」については、特に次の事項に留意して指導すること。  
ア 特別活動の全体を通して、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養うようにすること。  
イ 学級会活動及び学級指導

導については、相互の関連を図るとともに、学校や生徒の実態に応じて指導内容の重点化を図るなど、その指導が弾力的に行われるようにすること。  
ウ 学校行事については、集団宿泊、奉仕及び勤労生産にかかわる体験的な活動が一層充実するようにすること。

動の一部又は全体の代替ができること(を)を除いては全面的に実施すること。  
・新学習指導要領の「総則」の「第5 授業時数の取扱い」を実施することによって、クラブ活動の弾力的な実施(年間を通じて計画的に行うこと)と「毎週実施できるものとする」は必ずすこと(になる)を可能にする。

○第二段階・平成三年度  
改正された「学校教育法施行規則 第54条及び別表二」が学年進行で実施されることにより、標準授業時数としての学級活動の授業時数が「35・70」の幅をもつて弾力的に扱われることにも、学級活動のみをもつての時数のすべてに充てること(ができる)。

○第二段階・平成二年度  
平成二年度において保留されていた「特別活動」の「第3の4」が学年進行で実施されることにより、一部活動は全部の履修の代替が可能になる。

工 入学式や卒業式などにおける国旗及び国歌の取扱いについては、新中学校学習指導要領においてその取扱いを明確に示した趣旨を踏まえ、一層適切に行われるようにすること。  
○第二段階・平成二年度  
・新学習指導要領「第4 特別活動」の「第1 目標」「第2 内容」及び「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」について、「第3の4(部活動による)クラブ活動」

文部省教科調査官 高橋 哲夫

KANSAI KISEN  
大阪・神戸 直行便 別府 さんふらわあ 12,000トン

大阪南港 19.00発 → 神戸中突堤 6.50着  
8.20発 → 別府 8.00着  
20.30発 → 別府 19.20着

信頼の船旅 関西汽船  
営業本部営業課 大阪市北区梅田1-1 ☎(06)344-7031  
東京支社 東京都中央区八重洲1-4-14 ☎(03)274-4273  
及び各支店、営業所、旅行代理店へ

修学旅行に  
貸切専用外航純客船  
さんふらわあ7も  
ご利用ください。

さわやかな奥日光の高原で素晴らしい  
修学旅行の一夜をお過ごし下さい。

そのほか  
冬期はスキー教室  
夏期は林間学校

奥日光高原ホテル  
〒321-16  
日光市湯元2549-6  
(TEL) 0288-62-2121代表

きっと、思い出いっぱいの旅になる。

修学旅行は、鈴鹿サーキットで体験学習。

見て聞いて、触れて学ぶ。ためになる体験をしたら、宿泊はリゾート感覚あふれるホテルK棟をご利用ください。魅力的な施設・サービスが修学旅行を思い出深いものにします。学校団体用SPECIAL PRICEにてお待ちしております。

そのほか、北欧風のD棟・E棟・G棟・J棟、団体でのお泊りに便利なビレッジF棟など多彩な宿泊施設もご利用ください。

体験学習のご案内  
●エンジン教室 ●本田技研鈴鹿製作所工場見学  
●モトピア ●モータースポーツ観戦 ●地曳綱  
●潮干狩 ●伊勢形紙彫り ●茶摘み ●テーブルマナー 他

お問い合わせ・お申し込みは  
鈴鹿サーキット  
修学旅行課 〒510-02 三重県鈴鹿市福生町7992 ☎(0593)78-1111

▲横G棟が新しいサイドフォースカート(モトピア)